授業科目名	緩和ケア論	担当教員	教授　若崎淳子・橋本龍樹 准教授　秋鹿都子　　他
開講年次及び学期	4年　後期	必修・選択の別	選択
開講形態	講義	時間数	30
単位数	2		

授業の目的（概要）

緩和ケアの概念並びに患者とその家族が抱える全人的苦痛・苦悩を理解し、緩和に向けて必要なケアを実践するための看護上の知識を学習する。また、事例を通して、病とともに生きる人々とその家族の体験を理解し、全人的な看護実践に向けて適切に援助を提供する方法を検討する。そして、一連の学習過程を通じて、援助者としての姿勢と自己の死生観を明確化する。

学修成果（到達目標）

1.緩和ケアの概念を理解する。

2.臨床看護実践上で用いる理論やモデルを概観・理解し、対象理解に活用する。

3.発達段階や病期、疾患により異なる全人的苦痛と苦悩を理解する。

4.対象の全人的理解に基づき、苦痛緩和に向けた看護の方法を検討・討議する。

5.緩和ケア領域における倫理的諸問題や課題を理解し、看護支援を思考・討議する。

6.がん看護専門看護師の役割と実践を理解する。

7.認定看護師(緩和ケア・心不全看護)の役割と実践を理解する。

8.非がん患者への緩和ケアを理解する。

9.緩和ケアにおける地域連携の実際を理解する。

10.緩和ケアに関する事例検討や講義、演習を通じて、援助者としての姿勢と自己の死生観を明確化する。

キーワード

緩和ケア・がん患者の緩和ケア・非がん患者の緩和ケア・全人的苦痛・悲嘆ケア・倫理的課題・死生観

授業の進め方

・オンデマンド型講義および対面授業を併用して実施する。

成績評価の方法（合否基準）

・Moodle上に提出する理解確認ペーパー（30%）、課題レポート（70%）により評価します。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

[教科書]

指定なし

[参考書]

1.恒藤暁、内布敦子：系統看護学講座別巻　緩和ケア、医学書院、最新版.

2.梅田恵、射場典子：緩和ケア、改訂第2版、南江堂、2018.

3.鈴木志津枝：緩和・ターミナル看護論、ヌーヴェルヒロカワ、最新版.

4.その他：必要に応じて授業の中で紹介する。

オフィスアワー

事前のメールによるアポイントメントにより適宜対応する。

各単元担当者に連絡をお願いします。

モデル・コア・カリキュラムとの関連

A-1　プロフェッショナリズム
A-1-1)看護職としての使命、役割と責務
A-1-2)看護の基盤となる基本的人権の理解と擁護
A-1-3)看護倫理
A-2　看護学の知識と看護実践
A-2-1)学修の在り方
A-2-2)看護実践能力
A-3　根拠に基づいた課題対応能力
A-3-1)課題対応能力
A-4　コミュニケーション能力
A-4-1)コミュニケーションと支援における相互の関係性
A-5　保健・医療・福祉における協働
A-5-1)保健・医療・福祉における協働
A-6　ケアの質と安全の管理
A-6-1)ケアの質の保証
A-6-2)安全性の管理
A-7　社会から求められる看護の役割の拡大
A-7-2)保健・医療・福祉等の多様な場における看護職の役割
A-8　科学的探究
A-8-1)看護学における研究の必要性・意義
A-9　生涯にわたって研鑽し続ける姿勢
A-9-1)自己研鑽の必要性と方法
B-1　人々の暮らしを支える地域や文化
B-2　社会システムと看護
B-2-1)健康の概念
B-2-2)環境と健康
B-2-3)生活・ライフスタイルと健康との関連
B-2-5)社会の動向と保健・医療・福祉制度
B-3　社会における看護職の役割と責任
B-3-1)看護職の法的位置付け
B-3-2)看護における倫理
C-1　看護学に基づいた基本的な考え方
C-1-1)看護の本質
C-1-3)看護の観点から捉える人間
C-2　生活者としての人間理解
C-2-1)人間にとっての生活
C-2-2)個人と生活
C-2-3)生活環境としての場
C-2-4)地域社会における生活者
C-3　生物学的に共通する身体的・精神的な側面の人間理解
C-3-3)生命誕生、成長・発達と加齢、ヒトの死
C-4　疾病と回復過程の理解
C-4-2)基本的病因と病態
C-5　健康障害や治療に伴う人間の身体的・精神的反応の理解
C-5-1)病(やまい)に対する人間の反応
C-5-2)疾病の診断に用いる検査と治療
C-5-3)主な健康障害と人間の反応
C-5-4)薬物や放射線による人間の反応
D-1　看護過程展開の基本
D-1-2)多面的なアセスメントと対象者の経験や望み(意向)に沿ったニーズ把握
D-2　基本的な看護技術
D-2-1)看護技術の本質
D-2-3)日常生活の援助技術
D-2-4)診断・治療に伴う援助技術
D-3　発達段階に特徴づけられる看護実践
D-3-2)小児期にある人々に対する看護実践
D-3-3)成人期にある人々に対する看護実践
D-3-3)老年期にある人々に対する看護実践
D-4　健康の段階に応じた看護実践
D-4-4)慢性期にある人々に対する看護実践
D-4-5)人生の最終段階にある人々に対する看護実践
D-5　心のケアが必要な人々への看護実践
D-6　組織における看護の役割
D-6-1)組織における看護活動
D-6-2)リスクマネジメント
D-6-3)保健・医療・福祉チームにおける連携と協働
E-1　多様な場の特性に応じた看護
E-1-1)多様な場の特性
E-1-2)多様な場に応じた看護実践
G-2　看護学研究を通した看護実践の探究
G-2-1)看護実践の探究
G-2-2)研究成果の活用の方法

準備学修に必要な学修の時間

各講義の中で指示します。

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	配信方法	テーマ	授業内容	担当者
1	11月8日（月）	13:00～ 14:40	第4実習室	対面		小児の緩和ケア	小児の緩和ケア　その1	秋　鹿
2	11月8日（月）	14:55～ 16:35	〃	対面		小児の緩和ケア	小児の緩和ケア　その2	秋　鹿
3	11月11日(木)	8:30～ 10:10	〃	対面		専門的がん看護	がん看護の専門性	がん看護専門 看護師
4	11月11日(木)	10:25～ 12:05	〃	対面		専門的がん看護	がん看護専門看護師の役割と実践	がん看護専門 看護師
5	11月16日(火)	13:00～ 14:40	〃	対面		緩和ケア認定看護師の活動	緩和ケア認定看護師の役割と活動	緩和ケア 認定看護師
6	11月24日(木)	14:55～ 16:35	〃	対面		緩和ケアにおけるチーム医療	緩和ケア認定看護師の実践とチーム医療	緩和ケア 認定看護師
7	11月26日(金)	16:50～ 18:30	〃	対面		こころと緩和ケア	こころと緩和ケア　その1	橋本龍
8	11月26日(金)	18:40～ 20:20	〃	対面		こころと緩和ケア	こころと緩和ケア　その1	橋本龍
9	12月3日(金)	16:50～ 18:30	第3実習室	対面		こころと緩和ケア	こころと緩和ケア　その2	橋本龍
10	12月3日(金)	18:40～ 20:20	〃	対面		こころと緩和ケア	こころと緩和ケア　その2	橋本龍
11	12月7日(火)	13:00～ 14:40	第4実習室	対面		非がん患者の緩和ケア	非がん患者の緩和ケア：総論	心不全看護認定 看護師
12	12月7日(火)	14:55～ 16:35	〃	対面		非がん患者の緩和ケア	非がん患者の緩和ケアの実際	心不全看護認定 看護師
13	12月9日（水）	13:00～ 14:40	〃	対面		緩和ケア領域における 倫理的諸問題	終末期の鎮静　　緩和ケア領域における 倫理的諸問題・課題の理解と対応	嘱託講師 矢田
14	12月9日（水）	14:55～ 16:35	〃	対面		自己の死生観の明確化	グループ討議・まとめ／自己の死生観の明確化	嘱託講師 矢田

備考

※担当者や非常勤講師等の都合により、時間変更や実施方式の変更あり。その場合には、単元担当者から連絡する。